



…>>> いよいよ来週



親睦運動会 & 体育祭 <<<…



知念高校伝統の親睦運動会が、今年度は体育祭と合同で来週13(木)、14日(金)の2日間に渡って開催される。親睦運動会・体育祭スローガンも「The sky is the limit～空前絶後の風吹かせ～」に決定した。初日は、午前中に会場設営し、午後から体育祭の予選(女子400mと男子800m、女子100mと男子100m)をそれぞれ行い、その後15:30よりお待ちかねの「衣装ショー」が体育館で行われる。翌2日目には、9時の開会式後に400m女子と800m男子の決勝、その後100mの男女決勝と続く。午前最後のプログラムとして、学年別HRリレーと全男女による集団行動が予定されている。



昼食をはさんで午後からは、9団による本校伝統の「親睦ダンス」、そして最後に全体ダンスを披露して終了となる。特に親睦運動会は「各団による活動を通して学年間の連携を深め協力することの大切さ学ぶ」を目的に、本校の特色ある生徒会行事として毎年開催される。1学期締めくりとして各団の工夫を凝らした出し物が楽しみだ。知高生の自主性と創造性、「和衷協同」の精神が試される行事でもあり、各団の一致団結したこれまでの取り組みの成果が披露される。大いに期待してるぞ!



Yes, you can do it!

★ 7月 (文月：ふみづき)

短冊に歌や字を書いて書道の上達を祈った七夕の行事にちなんだ「文披月(ふみひらぎ)」が転じたものといわれているが、穂が見えるようになる頃であることから「穂見月(ほみづき)」が転じたという説もある。



★ 七夕 (たなばた)

七夕といえば、天の川を挟んで引き離された織姫と彦星が毎年7月7日の夕だけ会うことを許されたという中国から伝わった伝説が有名だが、日本では奈良時代に、乙女が小屋にこもって神を迎え身を清めるといふ棚機女(たなはたひめ)を信仰する祭事があり、これらが重なり合って七夕祭りの形が出来たといわれている。「七夕」は棚機、つまり機織り機(はたおりき)のことで、織姫星の和名を棚機津姫星と呼ぶことと、7日の夕の意味を合わせて「七夕」を「たなばた」と読むようになった。



『目的』の大切さ

～ 自己の夢実現へ向けて → → →



「自分の人生における目的」をどのように立てるか? 例えば「将来社会で活躍するために(=目的)、学校でしっかり学ぼう(=目標)/この大学・専門学校に行こう(=目標)/あの会社へ就職しよう(=目標)」等のように、「～するために」という目的には終わりがなく、その向かうべき進路には多くの目標が存在する。

このように考えると、今皆さんが日々学校で学んでいることは決して無駄にはなっていない。どんな教科であっても、将来何らかの形で活かされる時が必ず来る。色々と学ぶ中から人としての基本的な骨格が作られていく。「感謝の心」や「謙虚さ」、「素直さ」等、それらは「健康」な心と身体によって支えられている。皆さんが一日の大半を過ごす学校は、そのような目に見えない部分(確かな学力)を、生徒と先生が切磋琢磨して

学び合い、自己を高め合う訓練の場でもあるのだ。良き社会人となる為に…

～ 時の言葉 ～

『僕はきっとできると思う。なぜなら僕らがそれを今考えているのだから。』



宮沢 賢治 (1896～1933)：詩人・童話作家
岩手県里川口村(現・花巻市)生れ。盛岡高等農林学校(現・岩手大学農学部)卒業後、現・花巻農業高等学校の教師となり、その間に童話等を刊行。退職後、病の中で手帳に書き留めた「雨ニマケ」は彼の代表作。

～ English Maxim (名言) ～

"A goal without a plan is just a wish."

「計画のない目標は、ただの願い事にしかすぎない。」



Saint-Exupery (サント・エクスピアリ)：(1900～1944) フランスの作家、操縦士。郵便輸送のためのパイロットとして、欧州・南米間の飛行航路開拓にも携わった。代表作は「星の王子さま」。映画「紅の豚」で1920年代の飛行艇乗りを描いた宮崎駿監督は彼の愛読者。